



報道発表資料の配付日時 3月9日(火) 9時00分

発表項目 (行事名)	「農業農村整備を契機とした地域振興事例集(第4弾)」について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 道では、ほ場の大区画化や農地の排水改良、農業水利施設の老朽化対策など、農業農村整備を計画的・効率的に推進し、本道農業の生産力・競争力の強化や農村地域の強靱化に取り組んでいます。</p> <p>○ こうした農業農村整備の必要性・有効性を幅広く発信するため、全道16市町で基盤整備後の生産者の声を交えて、地域の取組事例を取りまとめた「農業農村整備を契機とした地域振興事例集(第4弾)」を作成しましたのでお知らせします。</p> <p>○ この事例集は、農業農村整備の実施を契機として、高収益作物の生産拡大や農作業の省力化、生産コストの低減が実現し、所得や販売額が向上した事例や、6次産業化の取組により雇用が創出された事例等、地方創生に結びついた取組を幅広く紹介しています。</p> <p>○ 「農業農村整備を契機とした地域振興事例集(第4弾)」は、道のホームページで公開しています。 ※農政部農村振興局農村設計課ホームページ内 <a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/nn/jireisyuu.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/nn/jireisyuu.htm</a></p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	農政部農村振興局農村設計課(担当者: 榎、田中) TEL ダイヤルイン 011-231-4111 内線 27-853		
-------------	--	--	--

# 農業農村整備を契機とした 地域振興事例集 (第4弾)

## 生産性の高い農業と活力ある 農村を実現する農業農村整備

令和 3年 3月  
北海道農政部

### ■農村振興事例集 目次(北海道)

年月	振興局	タイトル	関係市町村	主な作物	頁
R3.3	空知北部耕地出張所	酒米栽培におけるICT技術による営農作業省力化の取組	新十津川町	水稲、玉ねぎ、ねぎ等	1
R3.3	空知南部耕地出張所	【国土強靱化】大規模地震に備え、ため池の耐震化整備により下流地域を守る！	栗山町	水稲、小麦、大豆、南瓜等	2
R3.3	石狩	【国土強靱化】湛水被害を未然に防止し、良質な自給飼料の安定生産による地域活性化	江別市	牧草等	3
R3.3	後志	ほ場の大区画化とスマート農業の推進によるおいしい「らんこし米」づくり	蘭越町	水稲、小麦、大豆、メロン、アスパラ、イチゴ等	4
R3.3	胆振	用水の安定供給による「オロフレトマト」の産地ブランド化	壮瞥町	水稲、ドマト、ほうれん草、はれいしょ、ピーマン、キャベツ、かぼちゃ、果樹	5
R3.3	日高	余剰労力を活用した高品質作物栽培と収量の向上を目指して	新ひだか町	水稲、ミニトマト等	6
R3.3	渡島	高収益作物のブランド野菜「北の華(ニラ)」の生産拡大	知内町	水稲、ニラ、ほうれん草、トマト等	7
R3.3	檜山	地域活性化・ブランド力向上(あっさぶメーカーイン)・スマート農業の推進	厚沢部町	パレイショ(メーカーイン)、キャベツ、豆類、小麦、アスパラガス等	8
R3.3	上川中部整備室	酒造好適米作付け面積の拡大	旭川市	水稲、小麦、大豆	9
R3.3	留萌	町全域にて大区画化を推進 ～ 将来に向けた多様な米作りの継承～	増毛町	水稲・果樹(サクランボ・リンゴ・梨・ブドウ他)・そば等	10
R3.3	宗谷	【国土強靱化】大規模地震に備え、営農用水施設の耐震性強化	稚内市	牧草	11
R3.3	オホーツク東部耕地出張所	高収益作物(たまねぎ)の生産拡大で所得向上	美幌町	たまねぎ、にんじん、馬鈴薯、小麦、てんさい等	12
R3.3	オホーツク中部耕地出張所	国内外への新たな販路の拡大により、たまねぎの生産拡大	北見市	たまねぎ、小麦、甜菜、馬鈴薯、小豆等	13
R3.3	十勝北部耕地出張所	農産☆畜産☆商工連携によるブランド化とにぎわいのある地域づくりの取組	上士幌町	小麦、豆類、はれいしょ、てんさい、野菜類・牧草、青刈りとうもろこし	14
R3.3	釧路	生産性と品質の向上による酪農経営の安定化	浜中町	牧草等	15
R3.3	根室	“新しいひとの流れを創造” 生乳生産量日本一「ミルク王国べつかい」の取組	別海町	牧草等	16

# 酒米栽培におけるICT技術による営農作業省力化の取組【北海道新十津川町】

しんとつかわ

## 【生産者の声】

基盤整備をする前と比べてほ場の大区画化、湿害防止により、良質米の割合および酒米作付面積が増加しています。



ピンネ酒米生産組合 組合長 Sさん

## 【取組地域の概要】

○位置  
北海道 新十津川町 (過疎地域 山岳、特別定住地域)



新西部地区 他

○主要作物  
・水稲、玉ねぎ、ねぎ等

○主な支援施策  
・道営ほ場整備事業、中山間整備事業、担い手育成基盤整備事業 (S50~H30)

## 大区画化や暗渠排水工(集中管理孔)により省力化

○水田の大区画化や集中管理孔を併設した暗渠排水の整備により、食用米に加え作付面積全道1位の酒米の生産に重点



汎用化 大区画化 1.5haと1.0ha



集中管理孔を併設した暗渠排水

基盤整備 (S50~H30)

## 【整備前】

北海道有数の穀倉地帯で、高齢化、人口減少の現状において、狭小な区画や排水不良により農産物の生産性や品質の低下などが課題。



小区画 約0.5ha



排水不良土壌

## 生産現場

### ICT技術の積極的な導入

○町で補助するGPS田植機による効率的な田植え、ドローンによる防除を行い省力化  
○導入実績：GPS田植機41台、ドローン31台

GPSアンテナ



## 地域の取組

### 酒米の流通や加工品販売

○酒米は町内の金満酒造や札幌の日本酒造を始め、道内外へ流通  
○酒の製造過程で削り落とした酒米粉を利用した甘味料「しんとつかわお米シロップ」を活用したパン(2020年1月にセイコーマートで販売)と振興公社で製造したアイスクリーム



### 着実な新規就農者の増

○町とJAでピンネ会社を作り、新規就農の斡旋 R1実績は17人(農家跡取り含む)

## 大区画化やICT技術の推進による高品質米の生産、加工品の販路拡大

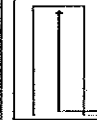
○大区画化やICT活用により省力化が図られ、酒米の生産増や日本酒の輸出量の増加により、農家所得が向上

GPSガイダンスを活用した走行ラインの効率化イメージ

ICT活用前

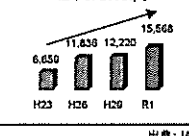


ICT活用後

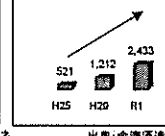


枕地での切り直し作業無し

酒米栽培面積(a)



日本酒輸出量(c)



出典:JAピンネ

出典:金満酒造(株)

# 【国土強靱化】大規模地震に備え、ため池の耐震化整備により下流地域を守る！

くりやま

## 【北海道栗山町】

## 【工夫のポイント】

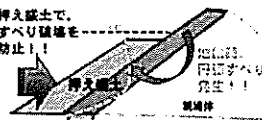
○近年、激甚化傾向にある北海道胆振東部地震級の大型地震等の被害に備えるためため池の耐震化対策は喫緊の課題。  
○耐震性調査の結果、耐震性が確保されていないため池の耐震化整備を実施し、堤体の決壊及びため池下流域の被害を未然に防止。



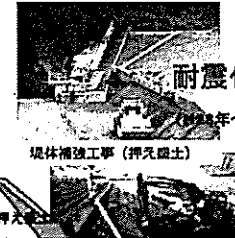
堤体決壊

## ため池決壊による浸水被害を防止

ため池耐震補強工事の実施により、ため池決壊のリスクを取り除き、下流域の安全性を確保。



堤体決壊



堤体補強工事(押入盛土)

## 耐震化整備

(H28年~R3年)

## 【背景】

大規模地震の発生時にため池の決壊により、多大な被害が発生する恐れ。



想定被害区域には、農地のほか、主要道路、農業用施設、住宅等集落が存在。

## 【取組地域の概要】

○位置  
北海道夕張郡栗山町 (過疎)



楯立ため池 1地区他

○主要作物  
・水稲、小麦、大豆、南瓜等

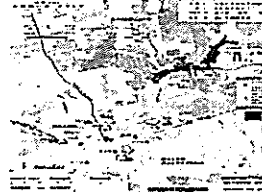
○主な支援施策  
・道営農村地域防災減災事業(ため池整備事業(地盤対策ため池防災工事)) (H28~)  
・道営農村地域防災減災事業(ため池整備事業(ため池整備工事)) (H28~R1)  
・団体営農村地域防災減災事業(調査計画事業(ハザードマップ作成)) (H30)

## 町がワークショップ等を開催

○ワークショップなどにより地域の防災意識が向上。  
○ハザードマップを町のホームページや広報に掲載し、地域住民に広く周知。



ワークショップの様子

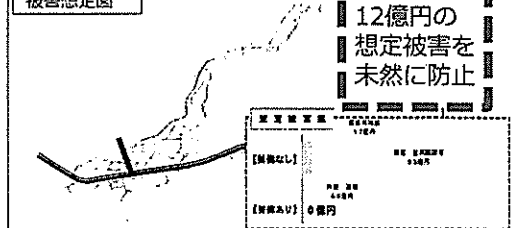


完成したハザードマップ

## 大規模震災時の人的被害の防止

○想定被害面積98ha内の、農地や農業用施設はもとより下流住民の生命財産、公共施設への被害を未然に防止。

被害想定図



## ため池機能の維持により農作物の安定生産が可能

○耐震補強工事の実施により、水源が守られ、下流域で安心して農業を営める環境が整う。  
○管内における生活諸物資の安定した流通の維持。



【国土強靱化】<sup>えべつ</sup> 湛水被害を未然に防止し、良質な自給飼料の安定生産による地域活性化 【北海道江別市】

【生産者の声】



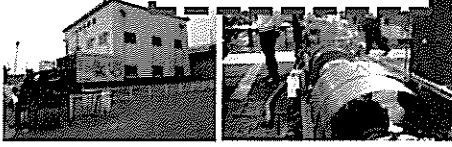
酪農家のIさん

湛水被害がなくなることで、良質な牧草をつくれます。牛は喜んで食べてますよ。

農地や農業用施設の湛水被害の防止

ポンプ設備の改修などにより、豪雨時の湛水被害の発生が防止され、良質な牧草等の収穫や地域の安全が確保される。

11億円の湛水被害を防止

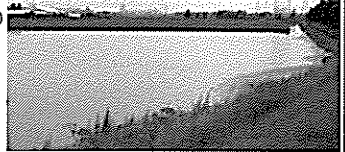


基盤整備

(H30年～R2年)

【整備前】

排水機場の老朽化に伴うポンプの動作不良などにより、豪雨時には農地や畑、農業用施設に湛水被害が発生している。



【取組地域の概要】

○位置  
北海道江別市



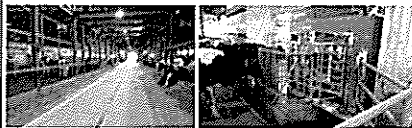
大麻地区

○主要作物  
・牧草等

○主な支援施策  
・道営水利施設等保全高度化事業  
(基幹水利施設保全型)(H30～現在)

生産性の向上と農業経営の安定

- 良質な自給飼料の確保などにより、安定的な生乳生産が実現。
- 日本の酪農として初のJGAP認証を受けた農業法人がメガロボットファームを運営。



ロボット搾乳設備の牛舎がまぶしい株式会社aim角山

堆肥の還元による地域活性化

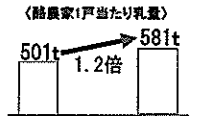
- 酪農家が近隣の貸し農園や直売所を運営している野菜農家に完熟堆肥を還元。



多くの人が農に親しむ市民農園 リポーターも多大人気の直売所

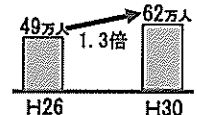
生乳生産の増大と農に触れ合う市民の増加

- 良質で安定的な自給飼料の確保と多頭化などにより生乳生産量が増大。



(貸し農園・直売所等の利用者数)

- 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が設立され、貸し農園や直売所などを通じた活発な交流・体験活動が行われており、農に触れ合う市民が増加。



(出典：江別市事務事業評価表より)

—江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会の活動—



調理も楽しい農業体験ツアー

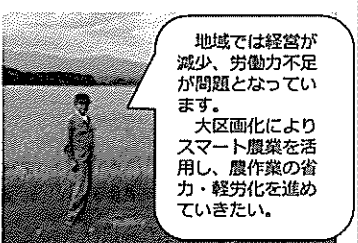


農家の栽培技術が学べる農園会

ほ場の大区画化とスマート農業の推進によるおいしい「らんこし米」づくり

【北海道蘭越町】<sup>らんこし</sup>

【生産者の声】

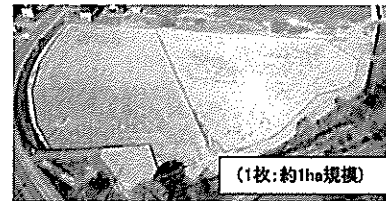


大谷地区期成会長 Fさん

地域では経営が減少、労働力不足が問題となっています。大区画化によりスマート農業を活用し、農作業の省力・軽労化を進めていきたい。

ほ場の大区画化をきっかけとしたICT農業の推進

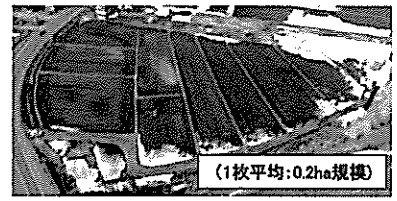
- 大区画化により、作業効率向上
- ～スマート農業導入のきっかけに



(1枚:約1ha規模)

【整備前】

小区画水田のため、作業効率が悪い



(1枚平均:0.2ha規模)

基盤整備

(H28～現在)

【取組地域の概要】

○位置  
北海道 蘭越町



大谷地区 他

○主要作物  
・水稲、小麦、大豆、メロン、アスパラ、イチゴ等

○主な支援施策  
・道営農地整備事業(H28～現在)

スマート農業の推進

- ・スマート農業の推進のため、蘭越町ICT活用推進協議会を設立
- ・直進アシスト田植機の導入により、省力化や労働負担が軽減
- ・ガイドシステムシステムの導入により、営農作業の精度向上や掛け合わせ減による資材コストの低減だけでなく、夜間作業も可能に
- ・自動操舵トラクターなどの導入も開始
- ・リモートセンシングを活用した「田んぼ診断」の導入(地力、生育状況、タンパク値等の見える化)

らんこし米のブランド力向上の取組

- ・町が、低タンパク米の生産農家及び販売業者に「らんこし米商標登録票」を発行して、ブランド力を向上。
- ・育苗管理の省力化と圃場過湿消菌による安全・安心な「らんこし米」のブランド構築のため、町が育苗施設を設置・運営

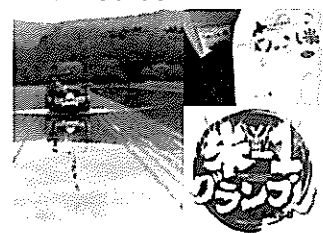
新規就農者支援及び安定雇用

- ・町が研修農場(トマト栽培)を設置して研修生を受け入れ、令和元年度には5戸が新規就農
- ・農業と観光の連携による労働力の安定雇用の推進(スキーリゾートとの連携)

おいしい「らんこし米」

- ・米の食味日本一を決めるR1「米-1グランプリ」でらんこし米が最高金賞を受賞

- ・R1ゆめびりかコンテストで、JAようてい蘭越地区が最高金賞受賞



直進アシスト田植機

【生産者の声】



トマトを生産するYさん

畑地かんがいによる安定的な用水確保

●取水施設及びファームポンドを新たに設置し、用水の安定供給が図られ、富農労力を軽減するとともに、品質の高い施設野菜を安定的に生産することが可能



収量・品質の安定化 トマトなどの高収益作物の作付が拡大 効果的・効率的な灌水

【整備前】

用水施設の老朽化により栽培に必要な用水供給が十分でなく、農作物の品質や収量が不安定であり、地区内の農家はかんがい用水の確保に苦慮



汎水による灌漑 用水施設の老朽化

【取組地域の概要】

○位置  
北海道 有珠郡 杜警町



幸内弁景地区 他

- 主要作物  
・水稲、トマト、ほうれん草、ばれいしょ、ピーマン、キャベツ、かぼちゃ、果樹
- 主な支援施策  
・道営畑地帯総合整備事業(H24～H29)  
・道営地すべり対策事業(H15～H28)  
・道営ため池等整備事業(H7～H8)  
・多面的機能支払い交付金(H26～)  
・杜警町就農者支援制度

クリーンで安心・安全な品質を目指して

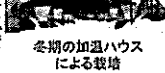
- 温暖地を利用して栽培される「オロフレトマト」は、  
・害虫の少ない冬期間に栽培  
・トマト収穫後に緑肥を栽培  
→ 農薬や化学肥料を低減  
○クリーン農業に積極的に取り組み「YES!clean」登録



地熱利用モデル田地のみなさん

道内で一番早い出荷により高値で取引

- オロフレトマト(加温ハウス)により、道内では一番早い2月上旬から出荷できるため、高値で取引→ 農産所得の向上



冬期の加温ハウスによる栽培

新規就農支援及び技術継承

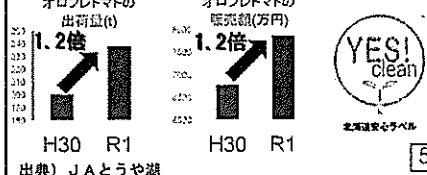
- 杜警高校の生徒が発案した『杜警町農業研修シェアハウス』を設置 (H30供用開始)  
○地元農業者による実地研修から就農、経営まで、新規就農者の受け入れを支援



農業研修シェアハウス

クリーン農業の実践を通じた地域ブランドの確立による農産所得の増加

- 地域が一体となった「クリーン農業」の実践や「YES!clean」登録 (水稲、トマト、ピーマン、ばれいしょ、かぼちゃ、キャベツ、りんご)  
○オロフレトマトに代表される農産物のブランド化による農産所得の向上



出典) JAとうや湖

【生産者の声】



受益者で農業法人経営のHさん

【取組地域の概要】

○位置  
北海道 日高郡 新ひだか町 (農業振興、過疎地域、山村振興)



豊畑地区

- 主要作物  
・水稲、ミニトマト
- 主な支援施策  
・道営農地開発事業(S40～S47)  
・土地改良施設維持管理適正化事業(H11～H16)  
・道営水利施設等保全高度化事業(H28～現在)

用水路の改修による労力軽減と生産性の高い農業経営

【整備後】

- 用水路をパイプライン化したことにより、安定的に用水を供給することが可能となり、維持管理の軽減並びに農産物の生産性向上と品質の確保を実現。



基盤整備 (H28年～R1年)

【整備前】

○施設の老朽化等により漏水に伴う維持管理作業が増大し、農地集積や農産生産力向上の妨げとなっている。



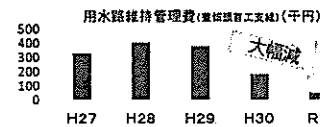
水路が漏水・漏水状況

維持管理の軽減と品質の向上

- 漏水が無くなり水管理が容易となった。  
○整備後の水田一枚の水張り時間は半分程度まで減少!!  
○幼穂形成期の浸水管理が容易となり品質が向上  
○余剰労力を生かし、今後、高収益作物であるミニトマトの規模拡大や更なる収量向上を見込んでいる。

厳しい基準をクリアした高品質米の生産

- 農産地ならではの良質な馬登推認を使用。  
○安心・安全なクリーン農業の取組み。  
○全道でも早い時期に「YES!clean」登録。  
○余剰労力を活用し水稲・ミニトマトの品質・収量向上が可能となった。



次世代の子供達に向けた食育活動

- 地元の小学生に田植え・稲刈りを指導し、「食」や「地元の農業」などに興味を持ってもらうことを目標に行っている。



田植え体験の子供

減農薬に特化した特別栽培米のブランド化

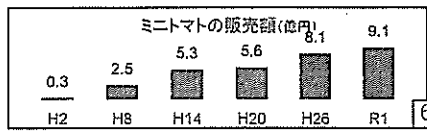
- 化学肥料、化学農薬を北海道基準の50%以下の厳しい基準をクリアし、更に高品質な米だけを厳選した良食味米 (タンパク6.8以下) の静内産特別栽培米なつぽしの「万馬券」を生産。  
○地元飲食店や学校給食など、幅広く地域に根付いている。



特別栽培米「万馬券」

高収益作物の導入による所得の向上

- ミニトマトのブランド化の推進  
○経営の複合化にミニトマトを取り込むことにより、所得の向上が図られた。



# 高収益作物のブランド野菜「北の華(ニラ)」の生産拡大

【北海道知内町】

## 【生産者の声】

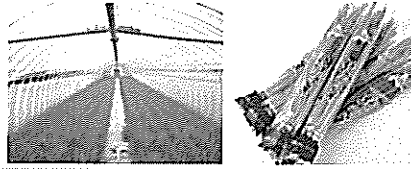


排水不良で作物が育たない農地でしたが、順調にニラが生産できるようになりました。

知内町ニラ生産組合員のOさん

## 基盤整備による高収益作物の生産拡大

基盤整備により農作業の効率化が図られると共に、水田の汎用化が可能となり、ニラ、ほうれん草などの高収益作物の導入・安定生産が可能となった。



## 基盤整備

(S52年～現在)

## 【整備前】

排水不良土壌が多く広がっており、作業性が悪い上、湿害により転作作物の安定生産ができないう。

排水不良ほ場



## 【取組地域の概要】

### ○位置

北海道上磯郡知内町(過疎、山村振興等)



重内地区 他

### ○主要作物

・水稲、ニラ、ほうれん草、トマト 等

### ○主な支援施策

- ・道営ほ場整備事業(S52～H16)
- ・道営農村地域防災減災事業(H24～現在)
- ・農地耕作条件改善事業(H28～現在)

## 組合員相互の団結とブランド化の取り組み

- 知内町ニラ生産組合を設立し、各組合員の技術情報の共有、栽培管理技術の統一等を行うことで、高品質の商品を市場へ提供。
- ニラは「北の華」、ほうれん草、トマトは「園遊舎」としてブランド化し、全国へ出荷。



## 知内町の旬のグルメをPR

- 毎年2月に「カキVSニラ祭り」を開催し、町内外の方へ知内野菜を提供。4800人が来場。
- 農業者によるニラ料理コンテストを行い、優秀作品は役場HP等に掲載。



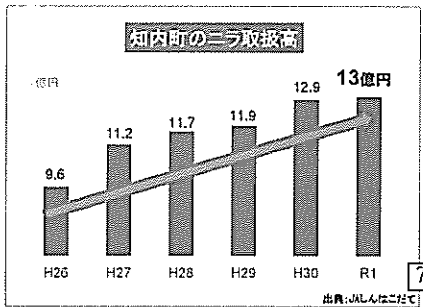
## 農業者・町・JAが一体となった就農支援

- 就農希望者等を支援する「しりうち地域産業担い手センター」がH30.4にオープン。
- 農業体験の開催や、研修農場での実践研修を支援。



## 高収益作物の生産による所得の増加

- 水田に施設園芸野菜を組合わせた複合経営が確立し、農家所得の向上に寄与。
- 知内町のニラは、全道一の生産量を誇る。
- JALはごだての知内基幹支店のニラの取扱高は年々増加し、13億円を突破。



# 地域活性化・ブランド力向上(あっさぶメーカー)・スマート農業の推進

【北海道厚沢部町】

## 【生産者の声】



基盤整備及びGPSガイダンス導入により農作業時間が大幅に減りました。

畑作農家 Sさん

## 馬鈴薯(メーカー)の生産向上と品質確保

- ・石壁の除去や噴流排水を整備することにより生育も安定し、品質が向上
- ・排水性改善により、大型機械での営農作業も可能



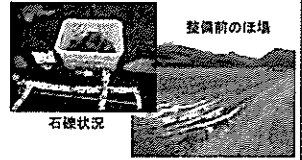
整備後のほ場 「あっさぶメーカー」「メーカー発祥の地」碑

## 基盤整備

(S45年～R2年)

## 【整備前】

- ・壁を多く含むため、生育不良や異形等の品質の低下が発生
- ・農地の排水不良により営農に支障



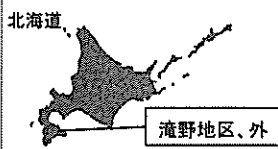
整備前のほ場

石壁状況

## 【取組地域の概要】

### ○位置

北海道 厚沢部町(山村振興)



滝野地区、外

### ○主要作物

・パレイシヨ(メーカー)、キャベツ  
豆類、小麦、アスパラガス等

### ○主な支援施策

- ・国営かんがい排水事業(S45～H13)
- ・道営畑地茶総合整備事業(H15～H19)
- ・道営中山間地域整備事業(H20～H29)
- ・農地整備事業(H30～R6)
- ・農地中間管理機構関連農地整備事業(H30～R6)
- ・農地耕作条件改善事業(H30～R2、R2～R4)

## 基盤整備を契機としたスマート農業(IGT)の推進

- ・整備を契機に「スマートアグリ推進協議会」を設立、GPSガイダンスを導入し、生産技術の効率化の検討、研修・講習会の開催
- ・安全・安心・高品質の「あっさぶメーカー」としてブランド化し、全国へ出荷



自動操舵による作業状況

## 馬鈴薯(メーカー)を使った取り組み

- ・「道の駅あっさぶ」でメーカーなど農産物の販売
- ・厚沢部ふるさと夏祭りのイベントで作られるメーカーを使った直徑2m以上の「世界一のジャンボコロケ」
- ・地元のメーカーを使ったジャガイモ焼酎「喜多里(きたさと)」
- ・メーカーの特徴を表した物産展などで大人気のゆるキャラ「おらいも君」



厚沢部町工場

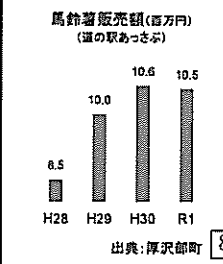
ジャンボコロケ

## 世界一素敵な過疎のまちづくり

- ・魅力ある「過疎のまち」づくりを全町あげて推進
  - ・農業担い手育成対策協議会が全力でサポート
- 新規就農者及び研修生延べ人数  
H29 1人、H30 3人、H31 3人

## 馬鈴薯ブランド力向上と販売額の増

- ・基盤整備により生育が安定し、品質が向上したほか、厳しい肥培管理を実践することでブランド力が向上し、販売額が増加している



# 酒造好適米作付け面積の拡大

あさひかわ  
【北海道旭川市】

## 【生産者の声】

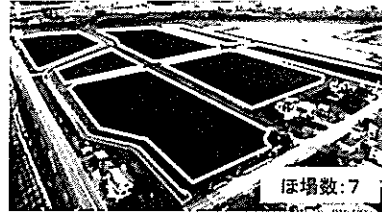
経営面積は、今後ますます拡大します。基盤整備により、スマート農業が実現可能となり、省力化と高品質な作物生産を両立して収益増を目指します。



耕作者 Mさん

## ほ場の大区画化により営農作業が効率化

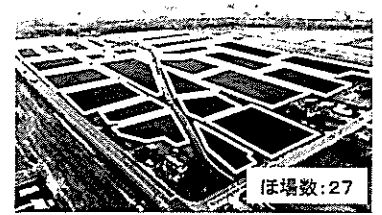
・約4倍の最大2.2haへ大区画化



ほ場数:7

## 【整備前】

・不整形な狭小区画



ほ場数:27

基盤整備

## 【取組地域の概要】

○位置  
北海道 旭川市



兵村北地区他

○主要作物  
・水稲、小麦、大豆

○主な支援施策  
・道営事業  
・国営事業  
・団体営事業  
・道営かんがい排水事業

## スマート農業の推進

ほ場の大区画化により無人GPSトラクターの導入が可能となり、作業時間の短縮とともに肥料、除草剤が均一に散布できることから、より高品質な作物を生産できるようになった。



## 地域ブランド化の取り組み

農家の母さんの味を継承した味噌のほか、2020年からは、地元産米「ゆめぴりか」を原料にしたビールなど農産加工品を開発し、生産・販売



## 全道トップクラスの新規就農者数

旭川市では、東京や札幌での就農フェアやオンラインで就農相談を実施し、希望者は地域の農家が受け入れて研修を行うなどの取組をとおし、平成22年から令和元年までの10年間で20名の方が農業以外から新規参入している。

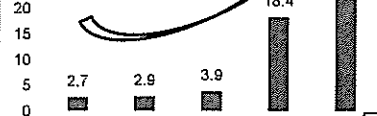
## 地元の米・水・酒蔵で日本酒造り

東旭川の酒造好適米作付け面積は、地元酒造からの需要増により増加。市内の酒造では、品質の良い地元の米と大雪山の伏流水で、地域性を打ち出した日本酒を製造・販売している。



酒造好適米作付面積(ha)

作付面積は5年で9倍



【出典】JA東旭川調べ

# 町全域にて大区画化を推進 ~ 将来に向けた多様な米作りの継承 ~

ましけ  
【北海道増毛町】

## 【生産者の声】

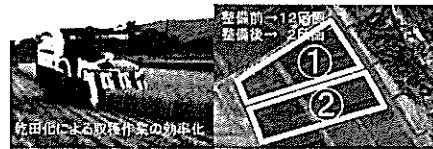


区画整理により、水管理の労力が格段に軽減されました。特別栽培米の作付けを始めました。

R元年経営移譲されたNさん

## 未整備ほ場から大区画化推進による作業効率の向上

・大区画化（最大2.5ha）と用排水整備により、町全域の水田で大幅な作業効率改善（機械作業・水管理省力化）が図られた。



## 基盤整備

(H26年～現在)

## 【整備前】

・未整備の区画は、平均13a程度の狭小なほ場で作業効率が悪い。  
・暗渠排水も未整備であり、排水不良土壌では、機械作業が困難。



## 【取組地域の概要】

○位置  
北海道 増毛町（過疎地域等）



別荘地区 他

○主要作物  
・水稲・果樹（サクランボ・リンゴ・梨・ブドウ他）・そば等

○主な支援施策  
・道営経営体育成事業（H26～現在）  
・多面的機能支払交付金（H27～現在）

## 農地集約化を見据えた稲作の展開

・担い手の水田経営規模  
7.2ha(H20)→11.6ha(H30) 単位:ha  
7.2 6割増  
H20 R1

【経営面積の推移】

・地域産業と連携した米作り  
国産酒造と生産者の連携による酒造好適米の生産が拡大。  
・地域ブランド日本酒の海外輸出拡大による地域産業の活性化。  
輸出額 H27:1千万→H30:3千万円  
H20 R1

【酒米面積の推移】

## 担い手の確保

・大区画化・集約化が進んだことにより、後継者のUターン者が増え、意欲的に担い手が確保されている。  
0 2 8  
H22 H27 R2

【後継者の推移】

## 町全体の優良農地の確保に向けた取組

○基盤整備を契機として、高品質米や酒造好適米の生産が拡大し、所得が向上している。  
○若手後継者が集まり「特別栽培米」作付けを新たにチャレンジ。  
○多様な米づくりによって地域の活性化に期待！

## 【戸当り販売額の推移】

単位:百万円/戸



出典:JA南のりい 聞き取りによる



国産酒造製造の日本酒

10

【工夫のポイント】

○国が定めた「新水道ビジョン」を踏まえ、稚内市では、安全でおいしい水を安定的に供給していくため、施設の老朽化に対応した将来像を設定し、これを実現する基本方針として「稚内市水道事業ビジョン」を策定。  
○同ビジョンの基本理念である「人と環境にやさしく、災害に強い水道」のもとに、安全でおいしい水を安定的に供給することを旨とする。

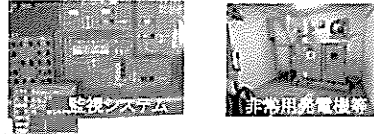
【取組地域の概要】



- 主要作物  
・牧草
- 主な支援施策
- ・担い手育成草整備改良事業H5～
  - ・草地畜産基盤整備事業(担い手中核型)H18～
  - ・草地畜産基盤整備事業(草地整備型)H26～
  - ・畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型)H21～
  - ・農地整備事業(単独営農用水)H24～
  - ・一般農道(集乳農道)H20～
  - ・農地整備事業(通作条件整備)H20～
  - ・国営総合農地防災事業H17～

施設の防災・減災機能の強化

- 耐震管へ改修することで、営農用水の安定供給を確保  
○非常用発電機等の設置、施設の監視システム強化



【整備前】

○施設の老朽化により漏水が頻発  
○安定した生乳品質や乳量の確保に不可欠な家畜用水は、水量の確保に多大な作業負担を強いられ、一刻も早い改修が求められていた。

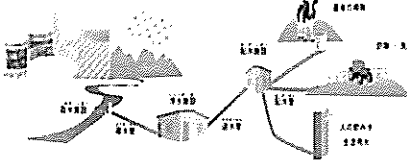


改修

(H24年～H30年)

安定的な農業経営の確保

- 営農用水施設の整備、耐震性強化等により、経営規模拡大に対応した用水量を確保  
○災害発生時においても、乳牛への給水が可能になり、安定した営農が実現

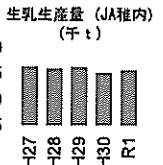


地域の安全性確保

- 耐震工事により地域の防災意識が向上  
→ 品質の確保など、農作業の効率化を実現し、「たまねぎ」の生産拡大と品質の高位水準化が実現

営農用水整備により維持管理費の削減に貢献

○地域に必要な営農用水量を確保するとともに、漏水事故等を解消して維持管理費を削減  
○安定した生乳生産量の確保が可能に



維持管理費 9,100千円/年の節減  
営農用水施設整備 (耐震性強化)

災害発生時の被害を未然防止



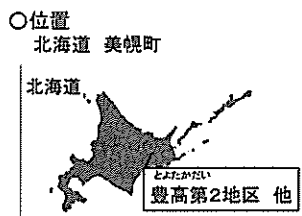
【生産者の声】

たまねぎの作付けを増やすため、基盤整備で「現場条件の改善が必要だよなあ」



たまねぎ講習会の様子

【取組地域の概要】



- 主要作物  
・たまねぎ、にんじん、馬鈴薯、小麦、てんさい等

- 主な支援施策
- ・国営畑地帯総合パイロット事業(S45～)
  - ・道営畑地帯総合整備事業(S46～)
  - ・産地パワーアップ事業(H28～H29)
  - ・強い農業づくり事業(H29)

農業農村整備事業の実施による、たまねぎの生産拡大

区画整理 → 均平化、暗渠排水 → 湿害の解消、畑地かんがい → 品質の確保など、農作業の効率化を実現し、「たまねぎ」の生産拡大と品質の高位水準化が実現。

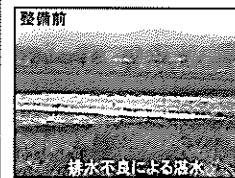


基盤整備

(S46年～現在)

【整備前】

農地の漏水、湿害により高収益作物(たまねぎ)の作付けが困難であった。



生産現場

愛される農産物への取組

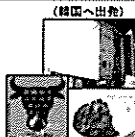
他町村のお祭りに参加して、「美幌産たまねぎ」をアピール



地域の取組

新たな販路拡大に向けて

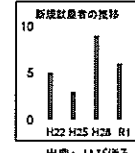
- ・令和元年から台湾、韓国へたまねぎの輸出開始(1,350t)
- ・たまねぎたっぷり「美幌和牛ほろほろ煮込みカレー」を販売



担い手

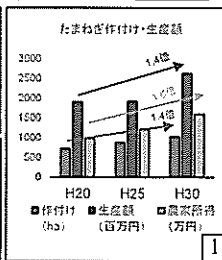
次世代農業者のサポート

- ・新規就農から経営移譲までの各ステージに合わせた教育研修による支援を実施
- ・新たな営農展開を見据えたICT技術の普及推進を図る取組を実施



美幌産たまねぎによる農家所得の増

- 【作付け面積】 ※H20年とH30年の比較  
・725 ha から 1,030 ha ⇒ 約1.4倍増
- 【生産額】  
・1,912 百万 から 2,630 百万 ⇒ 約1.4倍増
- 【即全体の農家所得】  
・9,793 千円 から 16,005 千円 ⇒ 約1.6倍増



出典:北海道農政事務所(作付け面積) JAびほろ(生産額・農家所得)



国内外への新たな販路の拡大により、たまねぎの生産拡大

きたみ  
【北海道北見市】

【生産者の声】

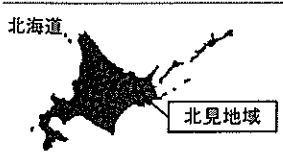
暗渠排水や客土を行った事により、品質向上や収量UPに繋がった。基盤整備事業に参加して良かった。



きたみらい赤玉葱振興会会長のSさん

【取組地域の概要】

○位置  
北海道 北見市

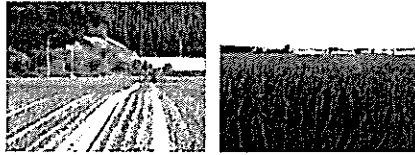


○主要作物  
・たまねぎ、小麦、甜菜、馬鈴薯、小豆等

○主な支援施策  
・国営畑地帯総合パイロット事業(S45~)  
・道営畑地帯総合整備事業(S55~)ほか

基盤整備や畑地かんがいによる生産性の向上及び品質の確保

排水路、暗渠排水及び客土などによる、排水性の改善や土壌改良によりたまねぎなどの高収益作物の生産性向上と品質の確保が実現



整備後

基盤整備

(S51年~現在)

【整備前】

未整備ほ場では、排水不良等や作付不良土により、高収益作物の安定生産に支障となっていた



排水不良等による湛水状況

生産現場

高収益作物生産体制の強化及び効率化

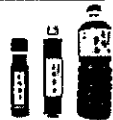
- 複数あった赤玉葱の生産組織を合併し、生産体制の強化及びコストの削減
- 新たに茎葉処理施設を作る事により、作業の効率化



地域の取組

国内外への新たな販路の拡大

- たまねぎを使ったオリジナル商品を開発し、国内へ販路拡大
- 台湾をはじめ、韓国、ロシアなどへ輸出(9,000トン)

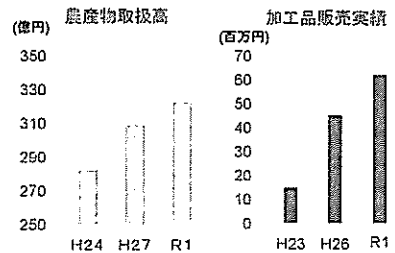


新規就農等の確保に向けた取り組み

- 農業体験や就農研修などをJAきたみらいや管轄市町が協力して実施し、毎年20名程度の新規就農者を確保

加工品や販路の拡大による取扱高の増加

- 基盤整備により排水性の改善や土壌が改良され、生産性が向上し、取扱高が増加
- たまねぎを使った、カレーやポン酢等のこだわりを持った新たなオリジナル商品の開発などにより販売実績の向上。



農産☆畜産☆商工連携によるブランド化とにぎわいのある地域づくりの取組【北海道上士幌町】

【生産者の声】



基盤整備で美味しいじゃがいもが作れるようになったよ!

様々な種類のじゃがいもを生産するKさん

【取組地域の概要】

○位置  
北海道河東郡上士幌町(過疎・山村)



○主要作物  
・小麦、豆類、ばれいしょ、てんさい、野菜類  
・牧草、青刈りととうもろこし

○主な支援施策  
・道営畑地帯総合整備事業、水利施設等保全高度化事業 (S59~現在)  
・道営中山間地域総合整備事業 (H16~H19)  
・国営かんがい排水事業 (H23~現在)

基盤整備による営農作業の効率化や農作物の生産性向上

- ☆ほ場の区画整理、暗渠排水、除れきの施工により、ほ場条件が改善し、農産物の安定生産や品質の向上とともに、効率的な営農作業が可能となった



区画整理や排水改良より生産性が大きくUP

石れきが排除され作業効率が大きくUP!

基盤整備

(S59年~現在)

【整備前】

○波状地形や窪地が点在するほ場では、降雨時の湛水や湿害が顕著となり、また、作土に多くの石れきが混入するほ場では、農作物の生育不良や作業効率低下するなど、農業経営の支障となっていた



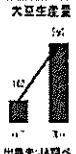
排水不良のほ場

石だらけのほ場

生産現場

労働力の省力化と循環型農業の推進

- JA上士幌町は適正な輪作の取組としてコントラクターによる豆類の収穫作業を受託し、労働負担の軽減と労働力不足を解消
- 家畜糞尿処理を担うバイオガスプラントから発生される消化液を活用し土づくりに向けて農地還元を行うなど耕種連携による循環型農業を推進



地域の取組

農商工連携による高付加価値化への取組

- 観光地域づくり会社「karch(カーチ)」が運営する「道の駅かみしほろ」のレストランでは、地場の食材を使った本格的なコース料理が楽しめるほか、町内産大豆を使用したノンカフェイン珈琲を提供
- 町の支援による商品開発事業により、町内産大豆による豆焼酎「豆ほろり」や馬鈴薯を活用した「冷凍コロッケ」を開発し販売



多様な人材が地域づくりに参画

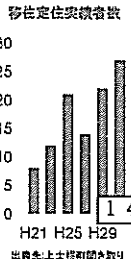
- 地元生産者とスキルや知見を有する都市部の人材等が協働して、希少品種の豆の認知向上と販路拡大について模索するプロジェクト「かみしほろ観/んすプロジェクト」をスタート、地域外の人材が地域づくりに参画

ひとものネットが生産活躍のまち

- 基盤整備により、農畜産物の安定生産と労働環境の改善が図られ、高付加価値化をめざす農業へ向けて様々な分野と連携のもと、積極的に活動が展開



- NPO法人上士幌コンシェルジュでは、運営するネットショップ「十勝かみしほろん市場」により、地場産品の情報発信を行い、販路拡大を目指すと同時に、移住・定住相談のワンストップ窓口を行い、地域住民との交流を通じた、様々なサポートを実施
- これらの取組により、移住・定住が促進され、新規就農や大規模牧場のスタッフとして就業するなど地域が活性化



【生産者の声】

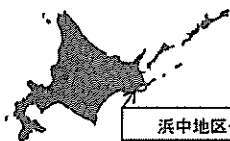


質の良い牛乳を作りたい浜中町に未だなので、エサの分量などを録行記録しながらやっていきたい。

【取組地域の概要】

○位置

北海道厚岸郡浜中町



浜中地区他

○主要作物

・牧草等

○主な支援施策

- ・道営農地開発事業(S45~51)
- ・道営草地整備事業(H5~15)
- ・道営中山間総合整備事業(H12~18)
- ・道営草地畜産基盤整備事業(H21~26)
- ・道営草地畜産基盤整備事業(R2~)
- ・多面的機能支払交付金(H24~)

基盤

草地整備による効率的な高位生産性草地への転換

○草地整備改良や暗渠排水を実施することにより生産性の向上と大型機械化体系に対応した高位生産性草地に転換

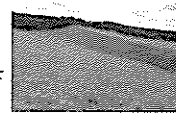


大型機械による収獲

基盤整備

【整備前のほ場状況】

○急傾斜・しゅう曲や起伏、地表水の滞水などにより、粗飼料の生産性が悪化、農作業機械の作業性の低下



生産現場

『感覚での酪農』から『分析に基づいた酪農へ』

○J Aにより全国初の酪農技術センターが設立され、牛の個体登録・人工授精・土壌分析など、牛に関するデータは全てシステム化し、効率的な施肥で牧草力がUPしコスト削減、効果的飼養が可能となった



酪農技術センターによる土壌分析

地域の取組

高品質な乳製品の開発の取組

○酪農技術センターの取り組みによる乳質向上の効果を踏まえ、年間を通じて乳脂肪率4.0を超える農家により『成分無調整4.0牛乳(高脂肪牛乳)』を生産



【高脂肪牛乳】

○ふるさと納税の返礼品として、浜中町の農産加工品の人気が高まっており、年々納税額が増加



【ふるさと納税返礼品】

担い手

新規就農(研修牧場)の取り組み

○浜中町では平成3年に町とJ Aにより新規就農者研修牧場を設立。200頭ほどの乳牛を飼養しながら、3年間酪農を学び、町内で離農した酪農家の牧場を引き継ぐ

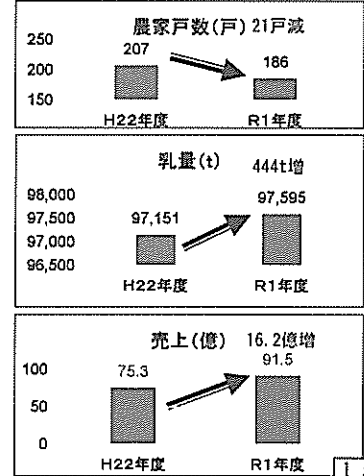


【研修牧場での1コマ】

○こうした就農者など、昭和58年から42戸が新しく酪農家として定着している。(新規就農者は全体の2割強)

生乳生産量増加と品質向上による経営の安定

○近年酪農家の戸数は減少してきているが、草地整備改良や酪農技術センターの取組により、町全体の生乳生産量は安定しており、戸あたり所得が増加し、経営の安定に繋がっている



【生産者の声】



草地整備でいい草が採れ自動給餌機と搾乳機のおかげで、作業も楽になりました。これを契機に今後とも増産する予定です！

自動給餌機を導入したSさん

【取組地域の概要】

○位置

北海道別海町(山村地域)

北海道



べつかいのみやうれん 別海上風連地区ほか

○主要作物

・牧草等

○主な支援施策

- ・草地畜産基盤整備事業
- ・水利施設等保全高度化事業
- ・農山漁村地域整備交付金
- ・営繕環境保全型かんがい排水事業
- ・移住定住促進事業、ふるさと応援推進事業
- ・U I J ターン新規就農支援事業 ほか

基盤

草地整備の実施による生産力・競争力の向上

○起伏修正や排水改良等の整備により、大型機械による作業効率を向上し、広大な自給飼料草場に立脚した、草地整備を展開

○光ファイバーなど通信インフラの整備によりスマート農業の導入が加速

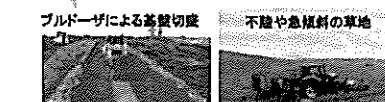
○引き続き、ほ場の大区画化や農道拡幅など、計画的な基盤整備の推進が、酪農地域の生産力と競争力の向上に寄与



大型機械による作業の効率化と牧草採集量を伸ばした草地整備

【整備前】

○経年変化に伴う草地の不陸(凹凸)や急傾斜、滞留水による雑草の混入・掘地化が、生産性と作業性を低下させ、経営の安定化に支障



ブルドーザによる基盤切整

不陸や急傾斜の草地

生産現場

省力化機械や新技術導入による経営の安定化

○家族経営で主体となつた畜舎用の搾乳口など省力化技術を先進的に導入

○肥培かんがいを施設の整備により、家畜ふん尿の有効かつ適正利用した環境保全型農業を実践

○発育発見などICT技術を活用した繁殖成績の改善や、性別別精液の導入による後継生産確保等で経営が安定



搾乳ロボット

地域の取組

海外輸出による新たな販売促進の取組

○町とJ A等出資による(株)べつかい乳業株式会社では、牛乳をはじめバター、チーズ等の乳製品を製造し、べつかいブランドを確立

○ベトナム・台湾・シンガポールなど海外にアイスクリーム等を輸出

○道内外にも販路を拡大し、ブランドを活かした競争力ある農業生産を確保



べつかいの乳製品

担い手

担い手確保・育成に向けた様々な取組

○J Aと町が連携した就農フェアへの出展や企業・学校への訪問の取組

○別海町酪農研修牧場など充実した施設により新規就農時の不安を払拭

○別海高校農業特別専攻科による実践的な人材育成

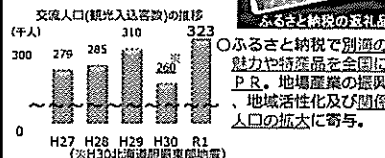


新規就農フェアの東京

体験型観光など地域資源を活かした交流人口拡大の取組

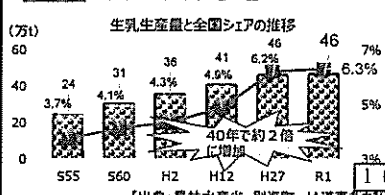
○滞在型・通年型・体験型観光のメニュー開発や、地域の魅力発信の強化など、地域資源を活かし交流人口が拡大

○ふるさと納税で別海の特産品を全国にPR。地場産業の振興、地域活性化及び関係人口の拡大に寄与。



○生乳生産量は4年前と比べ約2倍に増加

○草地整備事業等により、生産性が向上し全国シェア6.3%となる4.6万トンを生産



【出典：農林水産省、別海町、JA道東あさひ】

【お問い合わせ先】

北海道農政部農村振興局農村設計課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL :011-231-4111 (内線27-864)

FAX :011-232-0027